

氏名	南雲 浩隆	部署	作業療法学科	職名	准教授
研究分野	神経難病のリハビリテーション、神経難病における福祉用具・機器に関する研究				
学位	博士(保健医療学)				
学歴	07年国際医療福祉大学大学院保健医療学研究科修士課程、10年国際医療福祉大学大学院保健医療学研究科博士課程				
経歴	13年帝京平成大学地域医療学部教授、15年埼玉県立大学保健医療福祉学部准教授				
所属学会(役職)	日本作業療法士協会、日本高次脳機能障害学会、日本難病看護学会、日本温泉物理気候医学会、埼玉県立大学保健医療福祉科学学会				

【2016年度実績】

1. 研究業績					
著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月	
(1) 著作					
1 該当なし					
2					
3					
(2) 論文					
1 該当なし					
2					
3					
(3) 学会発表					
1 咽頭癌術後に自分の声の音声合成ソフトを用いたコミュニケーションの試み	共著	第53回日本リハビリテーション医学会学術集会、京都	○日野 創、本間武蔵、 南雲浩隆	2016.6	
2 神経難病地域リハビリテーション研修会参加者の動向	共著	第50回日本作業療法学会、札幌	○ 南雲浩隆 、日野 創、笠原良雄、本間武蔵	2016.9	
3 強制把握を呈した前頭葉損傷患者に対する自己身体感覚を利用したアプローチ	共著	第50回日本作業療法学会、札幌	○菅原光晴、前田眞治、原麻理子、 南雲浩隆	2016.9	
4 前脳基底部健忘の症候と前頭葉機能	共著	第50回日本作業療法学会、札幌	○原麻理子、前田眞治、菅原光晴、 南雲浩隆	2016.9	
(4) その他					
1 該当なし					
2					
3					
2. 競争的資金等の研究					
競争的資金等の名称	研究名、研究代表者・研究分担者の別			研究期間	
1 該当なし					
2					
3					
3. 教育業績					
講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)			
(1) 講義					
1 身体機能作業療法評価学	2016.4~2016.8	身体機能分野の作業療法における臨床評価の実際について、課題・目標を含めた講義を行った。			
2 身体機能作業療法評価学実習	2016.10~2017.2	後期の臨地実習 I-1に向け、身体機能における作業療法評価について有用な手技を中心に授業を行った。			
3					
(2) 演習					
1 該当なし					
2					
3					

(3) 実習			
1	IPW実習	2016. 10	特別養護老人ホームにてファシリテーターとして4日間の実習で指導を行い、期待した学習効果を上げることができた。
2	臨地実習 I-1	2017.2～2017.3	2年次生を対象に、外部実習施設(病院)の協力を得て3週間の臨地実習指導を行った。その結果、期待した学習効果を上げることができた。
3			
(4) 論文指導			
1	卒業研究ゼミナール	2016.6～2016.12	4年生3名、3年次4名に対して卒業研究における論文指導を行った。
2			
3			
(5) その他			
1	該当なし		
2			
3			
4. 社会貢献活動			
(1) 講演会、研修会等の講師			
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ
1	在宅難病患者訪問看護師養成研修(応用コース)研修会	東京都医学総合研究所	コミュニケーション障害のアセスメントと支援
2			
3			
			開催年月
1			2016. 10
(2) 国、自治体、財団法人等における委員等			
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称	任期
1	一般社団法人 埼玉県作業療法士会	編集委員会 委員	
2			
3			
(3) ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		
2			
3			
5. 学内運営(委員会委員)			
1	入試実施部会 委員		
2	保健委員会 委員		
3	ハラスメント等防止対策委員会 委員		
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の保有状況			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
	該当なし		